# 実 施 記 録

機関名　熊本労災病院　八代市保健センター　八代市立図書館

| | | | |
|---|---|---|---|
| 企画名 | 八代市立図書館でがん検診 PR イベント | | |
| 開催日程 | 2025 年 9 月 18 日～2026 年 2 月 27 日<br>（がん検診イベント 2025 年 10 月 4 日） | 参加人数 | 157 名 |
| 参加者の声 | （アンケート結果より一部抜粋）<br>・子供がいると、こういうイベントはありがたい。<br>・日常生活の見直し、がん検診の大切さがわかりました。<br>・がんに対して再認識できた。 | | |
| メディアで取り上げられた件数 | 4 | 掲載内容<br>（記事・URL） | やつしろぷれす 10 月号（https://www.8-pre.net/）<br>Nainai10 月号（https://nainai.co.jp/）<br>ひこいち TV 放送予定／読売新聞人吉支社取材 |

- 実施のきっかけ、機関同士が「つながる」きっかけ

・がん情報ギフト「結ぶ」事業へのエントリーです。今回第 3 回目を企画するにあたり、それぞれの機関の役割の再認識と各機関の連携強化につながるのではないかと考えたからです。

- 実施にあたり、大変だった（苦労した）点

・がん相談を実施するにあたり、どのようにしたら予約が入るか企画書提出時はそこまで考えが及んでおらず、内容を詰めていく中で対応を考えたため、企画書の提出に間に合わなかった。

・3 機関以外の協力機関に申請書への記名の同意について、回答がなく申請がしにくかった。

・スタッフの確保が必要であったため、関係部署に「結ぶ」事業にエントリーしたことを説明し、人員の確保につなげた。

・通常の図書館の利用者へも配慮しながら、広報・イベントを行ったこと。

- 実施して良かった！と思えた点、今後こんなことがしてみたい！と思う点

・それぞれの機関の強みを知ることができた。

・自部署では、通常目にしない参考資料などの情報を知ることができた。

・来館者さんの笑顔を見ることができた。

・イベントの会場として、普段、図書館を利用したことがない層の利用もあったので、利用拡大に繋がった。

・図書館が地域の情報発信の場であることを再確認できた。今後も、引き続き自治体の各関係機関等と連携を取り情報収集・発信に努めたい。

- 実施に向けて機関同士で大事にしてきた点

・機関同士の立場を尊重すること。

・報告連絡相談をおこたらないこと。

・各機関の役割や特徴、得意分野を活かしたこと。

・イベントの目的を、ミーティング等で何度も確認し共有を図ったこと。

- 機関同士での共同企画を行ってみたいと思っている機関へのメッセージ

・何か一つ行動をおこす。